



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2020-21 クラブテーマ 例会を楽しもう



2020. 10. 12

米山月間

No.2360 No.10



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

銅冶 康之

こんにちは。きょうはエボラ出血熱の話をします。

エボラウイルスはマイナス鎖一本鎖 RNA ウイルスのフィロウィルス科のウイルスで一类感染症に指定されています。

エボラ出血熱は 1976 年コンゴ民主共和国で集団発生し、コンゴ北西部を流れるエボラ川にちなんで命名されました。フルーツコウモリがエボラウイルスの宿主であり、それがヒトに感染すると血液、体液の接触によりヒトからヒトへの感染が成立して感染拡大が起こります。

感染すると 7 日から 10 日の潜伏期の後、発熱、筋肉痛、下痢、嘔吐、腹痛、咳、胸痛、昏睡、肝炎、脾炎、粘膜出血、下血が出現し、発症後 10 日で死亡します。致死率は 40~90%です。

回復例では中和抗体が出現する発症後 7~11 日目頃に症状が改善してきますが回復には時間がかかり、脊髄炎、肝炎、ぶどう膜炎、精神症状が出現します。エボラ出血熱の診断はアフリカではマラリアなどの他の熱性疾患が多く、発生地は紛争地であることが多いため診断が遅れ感染が拡大してから診断されることが多く、2013~2016 年に西アフリカで発生した流行は 2 万人以上の過去最大の感染者数となりました。

検査は PCR 法で診断されます。治療法として、ワクチンはまだありません。点滴での治療薬はレムデシビルが最近有名になりました。

レムデシビルは RNA ポリメラーゼ阻害剤で RNA ウイルスの増殖を抑える効果が期待されていますが、コンゴで発生したエボラ出血熱の患者には効果が認められませんでした。

しかし、新型コロナウイルスの出現により注目され、2020 年 2 月初頭に中国・武漢研究所より細胞培養レベルでレムデシビルが新型コロナウイルスの増殖を抑制したと医学書に発表されました。

ちなみにアピガンも RNA ポリメラーゼ阻害薬です。レムデシビルの新型コロナウイルスに対する効果は、中等症の入院が 15 日から 11 日に短縮される効果はありましたが軽症と重症には効果がありませんでした。

エボラ出血熱は感染してしまうとアウトなので、危険地域には近づかないでください。

- ◆出席：45 名中 27 名
- ◆今年度の通算出席率：80.61%
- ◆本日のビジター：(ゲストスピーカー) 米山奨学生
ヌル・アイナ・アフィカ・ビンティ・アブドゥル・ラーマンさん
- ◆先週のメイクアップ：▶10/6 三条北 RC ヘ▶佐々木常行君、田中康之君、長谷美津明君
- ◆幹事報告
- ◆ R I 第 2560 地区佐藤真ガバナーより
【第 2560 地区ガバナーノミニー決定のお知らせ】
ガバナーノミニー (2022-23 年度ガバナー)
新潟ロータリークラブ 高橋秀樹氏
(地区ロータリー財団学友会委員長、
新潟大学教授、文学博士、西洋史学者)
- ◆燕ロータリークラブより
【創立 60 周年記念式典の日程のご案内】
延期になっていた式典行事の日程を決定しました
2021 年 6 月 12 日 (土)
於 燕三条ワシントンホテル

ニコニコボックス

10/12 7,000 円 累計 100,000 円

- 銅冶会長「アイナさん、本日の卓話ありがとうございます」
- 石山幹事「米山奨学月間です。アイナさん本日もよろしく
お願い致します」
- 平松君「アイナさんの二度目の卓話宜しくお祈いします」
- 田代君「アイナさんの卓話楽しみにしています」
- 西潟君「昨年台風 19 号で被害を受けた福島県いわき市の
中華料理店のお話。再起を決めたのは友人の手助け。
ことし店を再開するもコロナで休業。恩返しと思い
市内の病院に特製の豚まんを差し入れる。
『コロナ憎んでも 豚まんは にくまん』の一言を添えて」
- 野崎君「BOX に協力いたします」
- 田中君「BOX にご協力ありがとうございました」



ロータリーは
機会の扉を開く

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク (ドイツ)
第 2560 地区ガバナー 佐藤 真 (村上岩船)
第 4 分区ガバナー補佐 丸山 健 (吉田)
会長 銅冶 康之
幹事 石山 昌宏
SAA 丸山 智

事務局
〒955-8666 三条市旭町 2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL0256-35-3477
FAX0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

委員会報告

熊倉高志社会奉仕委員長

「五十嵐川クリーン作戦」

2020年11月8日(日)午前7時~8時

(少雨でも中止となります)

活動場所 田島橋~御蔵橋 (集合場所等、詳細は後日決定後参加者へ連絡)

新型コロナウイルス対策等も影響してか市民の河川敷利用も少なく、また豪雨・洪水もなかったため流木等も少ない状況。今回当クラブでは、会長幹事、クラブ社会奉仕委員を中心に有志を募集して参加します。

米山月間卓話

米山記念奨学生

ヌル アイナ アフィカ ピンティ

アブドゥル ラーマン さん

(長岡技術科学大学修士課程)



Blessing in Disguise (災い転じて福となす)

子供の頃から絵を描くことに情熱を持っていました。これは、漫画やアニメが大好きな兄弟や友人の影響によるものかもしれません。そのため高校生の私は建築家になることを志しました。この仕事は私に一番合っていると思ったからです。

マレーシアでは中等学校終了時に、マレーシア教育修了証明試験という試験を全国の学生達が受験します。その成績で、進路を決定します。進路としては大学、留学準備プログラムと就活などがあります。留学により、将来はよい仕事に就けるという考えがあり、ほとんどの学生は留学のための奨学金の獲得を目指します。ですが、何万人とも競争しなければならないため、地元国立大学に奨学金をもらってもラッキーだと見なされます。

当時、私は政府からのオーストラリアの建築奨学金を目指していたため、放課後にはほぼ毎日塾に通い、一生懸命に勉強しました。時が経つにつれ、私は試験で良い成績が得られ、私が望む奨学金を早めに応募しようと考えました。しかし残念ながら、その年から国で経済危機が発生し、希望する奨学金を含めて、いくつかの奨学金プログラムが打ち切られました。

他の奨学金を志望しなければなりません。その年に建築と土木工学プログラムの新しい奨学金を初めて導入することを知りました。しかし、留学先に2つの選択肢しか与えられませんでした；イギリスか日本で。正直、子供の頃から日本に興味を持ち、日本の技術や文化などが魅力的だと感じていました。そのため、運試しにその奨学金を応募しました。面接に見事合格し、マレーシアにある2年間プログラムの日本語学校に入学することができました。

スムーズな生活ができると思いました。しかし、それをきっかけに自分の人生が変わり、より複雑になってしまいました。日本語学校の2年生の時、マレーシアと日本の建築システムが異なるという情報が聞きました。日本の大学で建築の学位を取得しても、マレーシアに戻っても建築家として働けません。マレーシアで建築家になるためには、3つの建築試験を合格しなくてはなりません。普通の建築家になりたかったら、2つの建築試験に合格することが必要です。マレーシアでほとんどの学生は学部生の間にこの試験を受けますが、日本ではこの試験がありません。

つまり、マレーシアで建築家として働きたかったら、地元

の大学で建築学のプログラムを最初から学ぶことが必要です。これを聞いたときに、ショックを受けて、奨学金団体に裏切られたと感じました。「奨学金団体はこの奨学金を私たちに提供する前になぜこのようなことを考慮しないのでしょうか。」「私たちを実験用マウスとして扱うのでしょうか。」

私を含めて、建築を勉強したい学生は7人もいました。先生達や両親と真剣に何回も相談した後、考えを変え、土木工学の道を歩み出しました。自分の将来を危険にさらしたくない。私以外の他の友人は皆、建築家になる進路に固執しました。私の決定に疑問を持つ人は何人もいませんでした。その日、自分の夢を諦めてしまいました。

2014年に初めて日本に来て、石川工業高等専門学校に進学しました。最初は素晴らしいところだと感じました。場所・季節・清潔さ・人々。全て新しい匂いでした。やる気に満ち溢れていました。

しかし、その後人生に楽な道はないということに気づかされました。高専時代の3年間ではストレスや寂しさを感じ、落ち込んでしまいました。限られた単語で日本人と会話することがこんなにも難しいとは思いませんでした。他の学生より、先生は私に厳しく、いつも良い成績を期待されました。「留学生だから、日本人よりももっと頑張るしかないでしょう」とも言われました。挨拶やお土産を配るなど、同級生と仲よくするように努力しました。しかし、見返りが全くありませんでした。最悪なのはクラスの同級生はいくつかのグループに分かれ、性格が合わない人々を遠ざけていました。同級生の間にも喧嘩がたまにあり、クラスの雰囲気は良くありませんでした。また、県内の大学にはマレーシア人がたくさんいるのにも関わらず、距離のせいでなかなか会えなかったため、あまり仲良くなることはできませんでした。そのとき、周囲に自分の存在を完全に無視されていると感じました。

高専の5年生になったとき、大学に入学することに苦労しました。私の高専には良い成績であれば、大学への推薦を受けられます。成績が良かった私は推薦を貰った上、岐阜大学に応募しましたが、申請を拒否されました。理由は？留学生だからです。推薦は日本人のみだけが使えます。入学したかったら、他の学生と同様に受験しなければなりません。

推薦を無駄にしないように、先生のアドバイス通りに長岡技術科学大学に応募しました。実は一年前に、長岡に行ったことがありました。大学の周りにはなにもなく、森に囲まれていたため、あまり良くない印象を受けました。「絶対にこの大学に入学したくない」と自分に決めました。しかし、面接は簡単に合格しました。驚きました。

大学受験の同じ年に、(高専で)ブラック研究室に入ってしまった、本当に苦労しました。先生を含めて、皆に無視されました。飲み会とかは一回も誘ってくれず、悪口を言われたこともありました。「何で私の言う言葉がわからないの」などとよく叱られ、日本語があまり上手ではない私は傷つけられました。もっと落ち込んでしまいました。毎朝目覚めてからすぐに涙が出ました。生きづらかったです。眠ったまま永遠に目覚めないように願いました。

長岡技術科大学の学部3年生のときに研究室を決めなければなりません。高専時代には研究に対して悪い経験ばかりしましたので、今回は慎重に選びました。地盤・道路の研究に興味を持ちましたが、私の研究室を決めるうえで重要な2点が満たされていませんでした；留学生が多い、良い雰囲気であるという2つの点です。結局、先輩と友達のアドバイスに従い、それまでは全く知らなかった研究室に入りました。

修士からは、マレーシア政府からの奨学金を受けられなくなるため、学部4年生のときに一生懸命アルバイトを探しました。宗教の制限があり、私が働ける職場が少なかったです。車も持っていないため、家の近くに合ったアルバイトしか応募しませんでした。どんなに頑張っても、面接にはいつも落ちてしまいました。「頭にスカーフを被り」「外国人だから」という二つが拒否された主な理由でした。

10月から兵庫県にインターンに行き、たこ焼き屋とクロネコヤマトの2つのアルバイトを経験しました。インターンの仕事・アルバイト・自分の生活のバランスを取るように時間調整に苦労しました。8時半から17時までのインターンが終わった後、18時から23時までアルバイトという生活を週4日間しました。日曜日の唯一の休日はバドミントンをしたり、旅行したりと適度にリフレッシュしながら忙しい日々を過ごしました。その時も奨学金を応募しましたが、奨学金を受けることができませんでした。

インターンを終えて、長岡に戻った際にまたアルバイトを探しましたが、拒否されてばかりでした。1か月間後にやっとイオンモール長岡でアルバイトをすることができました。生活が徐々に良くなると思いましたが、またたくさん問題が生じました。授業・研究・アルバイトが多く、毎日疲弊しました。運転免許を取得するため、多額の費用を払いました。合格するまで4度失敗しました。そして、他の人の面倒もよく見なければいけません。大学から何度も連絡が来て、国際のインターン生のことを任せられました。さらに、同居人は研究が原因で落ち込んでしまい、大学を辞めてしまいました。同居人を失うだけでなく、友達もなくなり、とても苦しかったです。ですが、ちょうど良いタイミングで新しいマレーシア人の留学生が来ましたので、私の新しい同居人になりました。

今年は、マレーシアに帰国する友人たちが多く、永久に離れ離れになるようで胸が張り裂ける思いでした。そして、新型コロナウイルスの発生で、帰国することができなくなりました。帰国した同居人も約半年間日本に戻らないため、家賃の支払いや掃除など、家事のすべてを自分一人で行いました。また、3月から就職活動を行いました。ほとんどの企業が新卒の採用を制限し、募集期間も短くなり、大変でした。一つの会社を以前からずっと目指し、最終面接まで受けましたが、選考に落ちてしまいました。同時に研究も順調に進まなくなり、自分の生活に不安を感じました。

思い返すと、どんなに頑張っても、そのほとんどが自分の望むような結果ではありませんでした。何

度も失敗しました。拒絶された気がしました。自分自身に失望しました。泣いてしまいました。「何でこうなるの」「私の何か悪いの」と何度も自問しました。

冷静に、きちんと考えたら、全て良いことであると気づきました。私は建築家になる夢を捨てた後、建築プログラムがすごく難しいと知りました。友人は何人も留年し、マレーシアに戻ったからといって建築家として働くことができませんでした。勉強量が多く、途中で挫折する人もいました。一方で、私の学科も難しいけど、まだまだ大丈夫だと思いました。

高専時代では友達ができませんでした・望んだ大学に入学できませんでした・望んだ研究室に入れませんでした。しかし長岡技術科大学では日本人と留学生、たくさん友人ができました。今の研究室も大変ですが、雰囲気が良く、研究室のメンバーは優しい人ばかりです。心の支えになっています。それにより、私は多くの人に対して感謝の思いを持っています。皆と過ごす日々を大事にして時間を無駄にしないように生きたいと思います。

アルバイトの面接に何回も落とされ、ついにイオンモール長岡に採用されました。給料は他のアルバイトより高いし、職場の皆さんも優しいです。勤務時間も柔軟で、自分の時間を調整できます。

一度奨学金の申請に失敗しましたが、今年はロータリーからより条件の良い奨学金をもらうことができ、本当に良かったと思います。

落ち込むせいで、同居人・友人を失っても、いいタイミングで最高の新しい同居人と仲良くでき、良かったです。多くの人との別れもあり悲しい想いもしましたが、この痛みは永遠に続くわけではなく、私たちはまたどこかで繋がれるということがわかりました。

運転免許試験や研究などで何度も失敗しましたが、最終的には自分が努力することでやりがい生まれ、成功に結び付くということがわかりました。

国籍問わず、多くの学生との交流を通じ、自分のコミュニケーション能力も向上しました。

一番行きたかった会社は最終面接には落ちてしまいましたが、実はブラック企業だと知りました。残業が多く、職場の雰囲気が厳しすぎるなどのいろいろな問題がありそうでした。その会社で働いた友達はまだ半年しか働いていないのに関わらず、もう仕事を辞めたいと愚痴をこぼしていました。

拒否されてばかりの経験で、自分は不運だと信じてしまいました。望まない結果ばかり起こりました。実はこの経験が「災い転じて福となす」ということを気づきました。どんなに辛くても、きっといつか笑える日が来ます。成功するまでにただ時間と忍耐が必要となります。

発表を終わる前に、マラボリさんという人の有名な引用を言わせていただきます。

“As I look back on my life, I realize that every time I thought I was being rejected from something good, I was actually being re-directed to something better.”

「人生を振り返ると気づくのだ。何か良いことに拒絶されと思った時はいつでも、実はより良いほうにリダイレクトされていたのだ、と」 (※リダイレクト=向きを変える、転送する)

